

D-6034

フキ-7シャット穴明ホ-ル盤

(00H00, 11H00)

61.3 枚入

/101Lスケ-ル

CP1000(CP1050)

取扱説明書

第3版

58年 4月発行

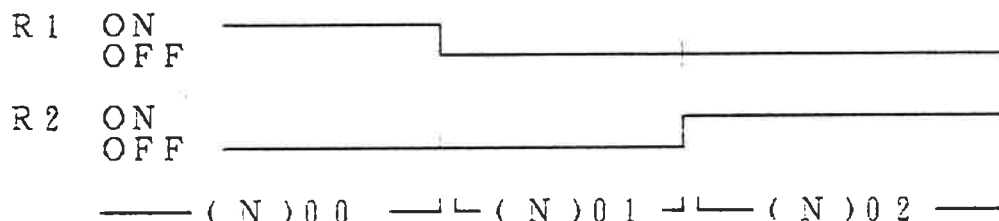
双葉電子工業株式会社

4. 2 プログラミング操作を行ないます。

このパターンは下記のように3つのブロックに分けられます。

ランダム入力方式ですから、(N) として何番を使用してもかまいませんが、ここでは 00, 01, 02 を使用します。

-100.000	100.000
----------	---------



IDX キーを押します。

IDX_ RUN PRG CLR

→ キーを押し、点滅を「 PRG 」に移します。



IDX_ RUN PRG CLR

「 PRG 」が点滅していることを確認して

SET キーを押します。

表示は右図の様に、「 > 」が点滅します

P00N00>

最初に、プログラミングするパターンの番号 (P) 01 を設定します。

P

P00N00>

0

1

P01N00>

SET と押します。

P01N00>

これでパターン番号の登録は終わりましたので、次にデータの設定に入ります。

4. 3 (N) 0 0 に位置データが - 1 0 0 . 0 0 0 未満の領域
のデータを設定します。まず、位置データとして - 方向の
最大値 - 9 9 9 9 . 9 9 9 を入力します。

と押します。

表示は右図のようになります。

P 0 1 N 0 0 ≥ - 9 9 9 9 . 9 9 9

次に、その領域での出力データを設定します。

キーを押します。

0 0 0 0 0 0 0 0

R 8 R 1

表示は右図のようになり、(N) 0 0 の出力データの設定
モードになります。この時、表示桁と出力チャンネルとの
関係は下の通りです。

1 桁目 = R 1

2 桁目 = R 2

.

8 桁目 = R 8

この領域での出力データは R 2 が 0、R 1 が 1 ですから、

1 桁目の出力データのみ変更します。

キーで点滅を 1 桁目に移動し、

0 0 0 0 0 0 0 0

1

0 0 0 0 0 0 0 1

SET と押します。

0 0 0 0 0 0 0 1

これで位置データが - 1 0 0 . 0 0 0 未満の領域でのデータ
の設定は終わりました。

4.4 次に、(N) 01に -100.000から +100.000
の間のデータを設定します。

まず、位置データ -100.000を設定します。

キーを押します。

P01N01≥

表示は右図の様に、(N) 01の位置データの設定モード
になりますので、位置データを

と設定します。

表示は右図の様になります。

P01N01≥ -100.000

-100.000から 100.000の間の出力データ
を設定します。

キーを押します。

00000000

表示は右図の様になり、(N) 01の出力データの設定
モードになります。-100.000から 100.000
の間のデータは R2、R1がともに0で、表示されている
データを変更する必要がありませんので

そのまま と押します。

表示は右図の様に変化しません。

00000000

これで -100.000から 100.000の間の
位置データおよび出力データの設定は終わりました。

- 4.5 次に、(N) 02に位置データが 100.000 以上の領域での位置データおよび出力データを設定します。

まず、位置データ 100.000 を設定します。

キーを押します。

P01N02>

表示は右図の様に、(N) 02の位置データの設定モードになりますので、位置データを

と設定します。

表示は右図のようになります。

P01N02> 100.000

次にその領域での出力データを設定します。

キーを押します。

00000000

表示は右図の様に、出力データの設定モードになります。

データは R2が1、R1が0ですから、2桁目のデータのみ変更します。キーで点滅を2桁目に移動し、

00000000

00000010

と押します。

00000010

- 4.6 これでデータの設定はすべて終了しましたので、次に作成したパターンをメモリーに格納します。

キーを押します。

P01N00>-9999.999

表示は右図に戻り、これで作成したパターンがメモリーに格納され、プログラミング操作はすべて終了しました。

プログラムの実行

5. 1 電源を投入します。

表示は右図のようになります。

PULSCALE CP1000

SET キーを押します。

表示は右図のようになります。

AUTP01Z 0.000

「Z」マークが点滅し原点検出モードになります。

なお、モードが上の様になっていない時には、次のように

キーを操作し、上記モードにします。

右列はその時々を表示を示しますが、 は、その記号が点滅していることを現わします。5. 2 **IDX** キーを押します。

IDX- RUN PRG CLR

「RUN」が点滅しますので **SET** を押します。

表示は動作の選択モードに変わります。

RUN- EXT AUT POS

「EXT」が点滅しますので **→** キーを押し、点滅を

「AUT」に移します。

→

RUN- EXT AUT POS

「AUT」が点滅していることを確認して

SET キーを押します。

RUN-AUT- P00

表示は右図のようになり、自動運転モードを実行する上での
パターン番号入力待ちの状態になります。

実行するパターン番号 (P) 01を

0 1

RUN-AUT- P01

SET と入力します。

AUTP01 Z 0.000

表示は右図の様になり、「Z」マークが点滅し原点検出のモードになります。

5.3 原点検出動作を行います。

機械を動かし、スケール原点を通過させますと、フザーが鳴り、「Z」マークが点燈状態となります。

そのとき、位置は原点シフト量の値となります。

(原点シフト量につきましては、44ページを参照してください)

 キーを押します。

「Z」マークは消燈し、運転可能状態になります。

パターン (P) 01で設定されたデータに基づいて、自動運転が可能です。

6 アラーム等の表示とその解除方法

アラーム番号一覧表

[illegible]

*** I/O PORT MAP

system name : CP1000, CP1050

表示桁	入力番号 : 00		ADDRESS : 00DC
	入力信号名	アクティブ	意味
1	P1	1	パターン切り換え入力
2	P2	1	パターン切り換え入力
3	P3	1	パターン切り換え入力
4	P4	1	パターン切り換え入力
5	ORG	0	外部原点検出モード入力
6	CLR	0	外部クリアー入力
7	OE	0	出力イネーブル
8	ABS	0	外部原点信号入力
印は外部入力信号を示します。			

表示桁	入力番号 : 01		ADDRESS : 00DD
	入力信号名	アクティブ	意味
1			未使用
2			未使用
3			未使用
4			未使用
5			未使用
6			未使用
7			未使用
8	BCH	0	バッテリーアラーム入力
印は外部入力信号を示します。			

*** I/O PORT MAP

system name : CP1000, CP1050

表示桁	入力番号 : 02		ADDRESS : 00DE
	入力信号名	アクティブ	意味
1	SW1	0	スケールユニットの極性切り換え
2	SW2	0	未使用
3	SW3	0	未使用
4	SW4	0	未使用
5	SW5	0	位置表示リセット
6	SW6	0	システムメモリーテストモード
7	SW7	0	ダイアグノースモード選択
8	SW8	0	パラメータモード選択
印は外部入力信号を示します。			

表示桁	入力番号 : 03		ADDRESS : 00F4
	入力信号名	アクティブ	意味
1	DA	1	カウンタ-2602入力データ (1)
2	DB	1	カウンタ-2602入力データ (2)
3	DC	1	カウンタ-2602入力データ (4)
4	DD	1	カウンタ-2602入力データ (8)
5	ABSON	0	原点位置入力 (1)
6	ABS'ON	0	原点位置入力 (2)
7	SERROR	0	S エラー入力
8	IRQ	0	表示キーコントローラ割り込み入力
印は外部入力信号を示します。			

(104-202)

*** I/O PORT MAP

system name : CP1000, CP1050

表示桁	出力番号 : 00		ADDRESS : 00DC
	出力信号名	アクティブ	意味
1	ALM	0	アラーム出力
2	RP	0	原点完了出力
3	RI	0	原点検出実行中
4		(0)	未使用
5	BUZ	1	ブザー出力
6		(1)	未使用
7	NMICL	0	ノンマスクابل割り込みリセット
8		(0)	未使用
印は外部出力信号を示します。			

表示桁	出力番号 : 01		ADDRESS : 00DD
	出力信号名	アクティブ	意味
1	R1	0	チャンネル1出力
2	R2	0	チャンネル2出力
3	R3	0	チャンネル3出力
4	R4	0	チャンネル4出力
5	R5	0	チャンネル5出力
6	R6	0	チャンネル6出力
7	R7	0	チャンネル7出力
8	R8	0	チャンネル8出力
印は外部出力信号を示します。			

*** I/O PORT MAP

system name : CP1000, CP1050

表示桁	出力番号 : 02		ADDRESS : 00DE
	出力信号名	アクティブ	意味
1	R9	0	チャンネル9出力
2	R10	0	チャンネル10出力
3	R11	0	チャンネル11出力
4	R12	0	チャンネル12出力
5	R13	0	チャンネル13出力
6	R14	0	チャンネル14出力
7	R15	0	チャンネル15出力
8	R16	0	チャンネル16出力
印は外部出力信号を示します。			

表示桁	出力番号 : 03		ADDRESS : 00F4
	出力信号名	アクティブ	意味
1	T0	0	カウンタ-2602桁選択 (1)
2	T1	0	カウンタ-2602桁選択 (2)
3	T2	0	カウンタ-2602桁選択 (3)
4	LATCH	0	カウンタ-2602ラッチ
5	CL	0	カウンタ-2602クリアー
6	CS	0	カウンタ-2602チップセレクト
7	ABSCL	0	原点モードリセット (1)
8	ABS'CL	0	原点モードリセット (2)
印は外部出力信号を示します。			

1.1.2 原点シフト量の設定例 (2)

パターン (P) 01の原点シフト量を -1.000にする場合

- 1 以下のキー操作を行ない、パターン (P) 01の
原点シフトの表示にします。

IDX

IDX_ RUN PRG CLR

→

IDX_ RUN PRG CLR

「 PRG 」が点滅していることを確認して、

SET キーを押します。

P00N00>

パターン番号 (P) 01を、

P

P00N00>

0

1

SET と設定します。

P01N00>

↓

キーを押します。

P01ORG>

0.000

表示はパターン (P) 01の原点シフトのモードになります。

- 2 原点シフト量を

±

1

.

0

0

0

SET

と設定します。

表示は右図のようになります。

P01ORG>-

1.000

- 3 **STOR** キーを押し、データを格納します。

- 4 これでパターン (P) 01の原点シフト量が
-1.000となりました。

モードの解除は **IDX** を押します

IDX_ RUN PRG CLR

1.6 設定スイッチについて

基板上にSW1からSW10までの設定スイッチがついています。

このスイッチはシステム設定用に使用します。

名称	内 容
SW1	スケールユニットの位置読取り方向の切り換えです。
SW2	
SW3	
SW4	
SW5	ON側に倒したまま電源を投入しますと位置表示が0.000となり、オーバーフローを解除することができます。 <u>通常はOFF側に倒しておいてください。</u>
SW6	ON側に倒したまま電源を投入しますと、システムのメモリーをテストするモードになります。 <u>通常はOFF側に倒しておいてください。</u>
SW7	ON側に倒しますとダイアグノースのモードになります。 <u>通常はOFF側に倒しておいてください。</u>
SW8	ON側に倒しますとパラメータのモードになります。 <u>通常はOFF側に倒しておいてください。</u>
SW9	原点信号としてスケール原点を使用する時にON側に倒します。
SW10	外部原点信号の変化で取り込む時のみOFF側に倒します。 スケール原点を使用する時にはON側に倒しておいてください。

1.7 内部パラメータについて

(104-113)

パルススケール[※] CP1000 (CP1050) には、そのシステムごとに固有の内部パラメータが設定されています。

通常はこの内部パラメータを変更することはありませんが、何らかの理由で変更する場合は以下の操作例に従って行ないます。

例・・・パラメータ番号01を00000001にする場合

- 1 上蓋をあけ、基板上についているスイッチSW8をON側に倒してください。なお、スイッチの位置につきましては51ページを参照してください。

表示は右図の様になります。

PAR-N00 ≥ 00000000

- 2  を押し、パラメータ番号01を選択します。

表示は右図の様になります。

PAR-N01 ≥ 00000000

- 3 変更するデータを  と入力します。

表示は右図の様になります。

PAR-N01 ≥ 00000001

- 4  キーを押します。

データの変更が終わったので、次に格納動作を行ないます。

裏面に付いているプロテクトスイッチをOFF側に倒します。

 キーを押します。

ブザーが鳴り、パラメータが格納されます。ブザーが鳴り終わったらプロテクトスイッチをON側に戻します。

- 5 最後に基板上のスイッチSW8をOFF側に倒します。

これでパラメータの変更は終わりました。

システムパラメータ一覧表

(104-118)

システム名 : CP1000, CP1050

番号	名称	標準設定	単位	意 味
000		000000000		電源投入から原点検出を行うまでの R1～R16の出力
001		000000000		
002		000000000		非常停止 (EMG) が入力した時の R1～R16の出力
003		000000000		
004		000000000		測長モード時のR1～R16の出力
005		000000000		
006		000000000		-∞から最小位置データ設定位置まで の間の出力データ
007		000000000		
008		000000000		出力データのクリアーの状態
009		000000000		
010	機種により異なる			基本設定スイッチ
011	機種により異なる			
012	機種により異なる			設定スイッチ
013	機種により異なる			
014	機種により異なる			オプション設定スイッチ
015	機種により異なる			
016				
017				
018		01111010		オプション設定スイッチ
019		00001000		
020		00000000		OE (アウトプットイネーブル) が 入力した時のR1からR16の出力
021		00000000		
022				
023				
024				
025				

番号	名称	標準設定	単位	意 味
050		5000		位置誤差監視リミット
051				
052				
053				
054		1111		ドライラン定数
055				

システムパラメータ詳細

0	1	0
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
			CP3			CP2	CP1

桁目	名称	内 容	1	0
1	CP1	CP_____	1050	1000
2	CP2	CP_____	1050	1000
3				
4				
5	CP3	CP_____	1050	1000
6				
7				
8				

システムパラメータ詳細

0	1	2
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
				SR 4	SR 3	SR 2	SR 1

SR 1, 2, 3, 4はスケールの分解能を現わします。

SR 4	SR 3	SR 2	SR 1	分 解 能 (ミクロン)
0	0	0	0	0.1
0	0	0	1	0.2
0	0	1	0	0.5
0	0	1	1	1
0	1	0	0	2
0	1	0	1	5
0	1	1	0	10
0	1	1	1	25
1	0	0	0	50
1	0	0	1	100
1	0	1	0	設定禁止
1	0	1	1	設定禁止
1	1	0	0	設定禁止
1	1	0	1	設定禁止
1	1	1	0	設定禁止
1	1	1	1	設定禁止

システムパラメータ詳細

0	1	3
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
						BL2	BL1

桁目	名称	内 容	1	0
1	BL1	1桁目をblankに	する	しない
2	BL2	2桁目をblankに	する	しない
3				
4				
5				
6				
7				
8				

システムパラメータ詳細

0	1	4
---	---	---

3桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
					RS2	RS1	RS0

桁目	名称	内 容	1	0
1	RS0	対タイプライターは	あり	なし
2	RS1	対コンピューターは	あり	なし
3	RS2	ホストインターフェースは	あり	なし
4				
5				
6				
7				
8				

0	1	5
---	---	---

3桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
MZR	IZR						NZR

桁目	名称	内 容	1	0
1	NZR	原点検出実行前に出力は	行なう	行なわない
2				
3				
4				
5				
6				
7	IZR	電源投入時原点検出モードに	する	しない
8	MZR	原点検出後原点マークは	点燈する	消燈する

システムパラメータ詳細

0	1	8
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
SB 2	SB 1	E/O	P/N	BL 2	BL 1	DV 2	DV 1

RS 2 3 2 Cのビット構成パラメータです。

SB 2	SB 1	ストップビット長
1	1	2ストップビット
1	0	1.5ストップビット
0	1	1ストップビット
0	0	設定不可

桁目	名称	内 容	1	0
6	E/O	パリティは	偶数	奇数
5	P/N	パリティチェックは	あり	なし

BL 2	BL 1	転送ビット長
1	1	8ビット
1	0	7ビット
0	1	6ビット
0	0	設定不可

DV 2	DV 1	分割
1	1	× 6 4
1	0	× 1 6
0	1	設定不可
0	0	× 1

システムパラメータ詳細

(104-220)

0	1	9
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
	BR7	BR6	BR5	BR4	BR3		

ボーレート設定パラメータです。

1桁目から8桁目は必ず1つの桁のみ1に設定します。

桁目	名称	ボーレート
1		
2		
3	BR3	4800
4	BR4	2400
5	BR5	1200
6	BR6	600
7	BR7	300
8		

システムパラメータ詳細

0	2	0
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
008	007	006	005	004	003	002	001

0	2	1
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
016	015	014	013	012	011	010	009

OE（アウトプットイネーブル）が入力した時に、この設定値が出力されます。

なお、001はR1に、002はR2に、・・・・016はR16にそれぞれ対応します。

0	2	2
---	---	---

8桁目	7桁目	6桁目	5桁目	4桁目	3桁目	2桁目	1桁目
				NP4	NP3	NP2	NP1

桁目	名称	内 容	1	0
1	NP1	P1の入力の論理は	L	H
2	NP2	P2の入力の論理は	L	H
3	NP3	P3の入力の論理は	L	H
4	NP4	P4の入力の論理は	L	H
5				
6				
7				
8				

パルススケール® CP1000 (CP1050) コネクターリスト

(104-115)

印は入力信号 (MR-50RM)

番号	名 称	意 味	番号	名 称	意 味
01	P1	パターン切換え	02	P2	パターン切換え
03	P3	パターン切換え	04	P4	パターン切換え
05	ORG	外部原点検出	06	CLR	外部クリアー
07	OE	出力イネーブル	08	EXTP	外部動作選択
09		未使用	10		未使用
11		未使用	12		未使用
13		未使用	14		未使用
15		未使用	16		使用不可
17	ABS	外部原点信号	18	EMG	非常停止入力
19	ICOM	入力コモン	20	ICOM	入力コモン
21	R1	チャンネル01出力	22	R2	チャンネル02出力
23	R3	チャンネル03出力	24	R4	チャンネル04出力
25	R5	チャンネル05出力	26	R6	チャンネル06出力
27	R7	チャンネル07出力	28	R8	チャンネル08出力
29	R9	チャンネル09出力	30	R10	チャンネル10出力
31	R11	チャンネル11出力	32	R12	チャンネル12出力
33	R13	チャンネル13出力	34	R14	チャンネル14出力
35	R15	チャンネル15出力	36	R16	チャンネル16出力
37		使用不可	38		使用不可
39	ALM	アラーム出力	40	RP	原点完了出力
41	RI	原点検出実行中	42		未使用
43		未使用	44		未使用
45	OCOM	出力コモン	46	OCOM	出力コモン
47	GND	基板アース	48	GND	基板アース
49	+5V	電源	50	+5V	電源

パルススケール® CP1000、CP1050プログラムシート

年 月 日

プログラム名	パターン	原点シフト量	作 成 者	承認

[illegible]

2. プログラムから、実行まで

※ 下線は点滅を示します

以下に各例についての、キー操作を、示します。

例 1) 100.000 mm 以上で R1 を ONさせる

電源投入		PULSCALE CP1000
(*)	IDX	IDX RUN PRG CLR
	⇒	IDX RUN PRG CLR
	⇒	IDX RUN PRG CLR
	SET	CLEAR P00
	SET	CLEARING P00
	IDX	IDX RUN PRG CLR
	⇒	IDX RUN PRG CLR
	SET	POON00 >
	1 0 0 . SET	POON00 > 100.000
	↑	00000000
	→ x7	00000000
	I SET	00000001
	STOP	POON00 > 10.0000

IDX	IDX RUN PRG CLR
SET	RUN EXT AUT POS
⇒	RUN EXT AUT POS
SET	RUN AUT P00
SET	AUT P00 0.000

↓
実行

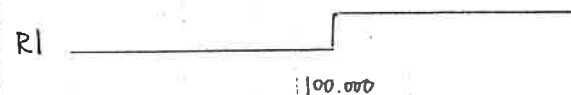


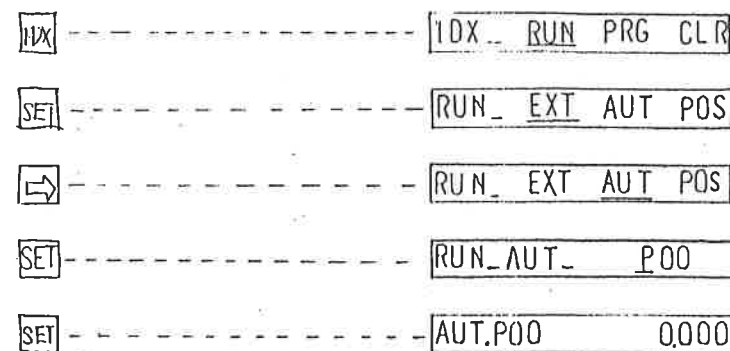
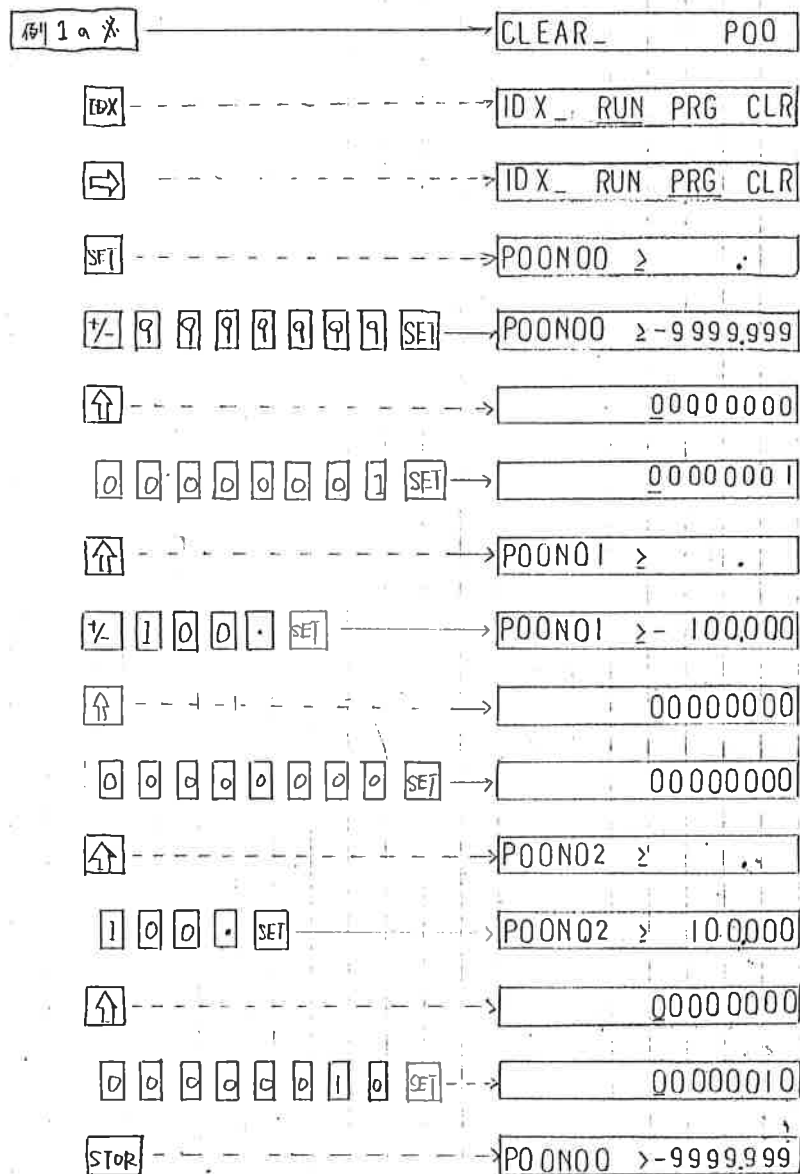
図 2-1 例 1 の実行出力信号

スケールを動かし、スケールの値が 100.000 mm をこえると R1 が ON します。

この例は、R1 が使用しているが、R1 と同時に R2 も使用するとき、2 段のはね上げ用として、使えます。

例 2)

-100.000mm 未満で R1 が ON, 100.000mm 以上で
R2 が ON する



↓

実行

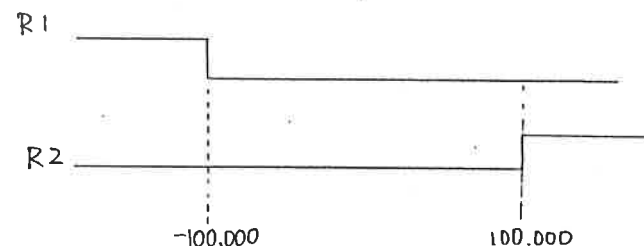


図 2-2 例 2 の 実行出力信号

この例は、R1 を 下限リミット、R2 を 上限リミットとして、使用
したもので、専用機に、使用されて おります。

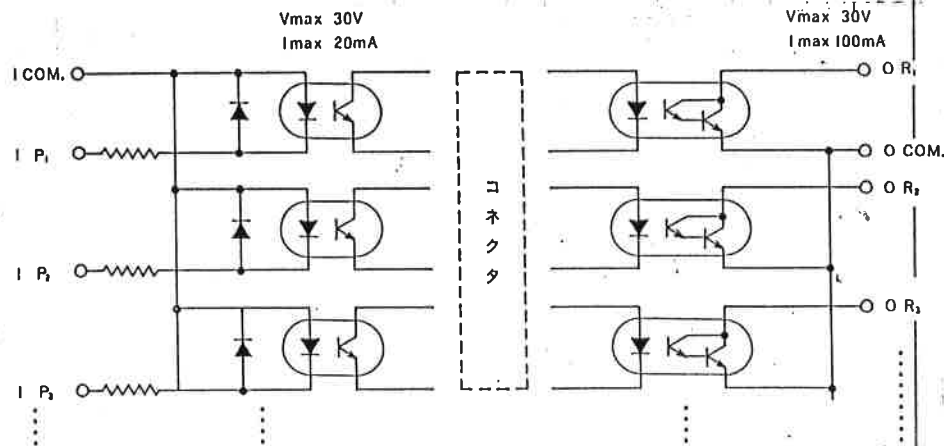
3. I/O コネクタ

I/O コネクタについては、下に一覧表を示すと共に、各信号について、説明いたします。

3-1. I/O コネクタ表

使用コネクタ... カウンタ側 MR-50M(本多)				ケーブル側 MR-50F(本多)			
PIN No.	I/O	信号名	備考	PIN No.	I/O	信号名	備考
1	I	P ₁	パターン切換	18	I	EMG	非常停止
2	I	P ₂		19			
3	I	P ₃		20		I.COM.	入力コモン
4	I	P ₄		21	O	R 1	チャンネル 1-16
5	I	ORG.	原点設定	22	O	R 2	
6	I	CLR.	外部クリア	23	O	R 3	
7	I	OE.	外部イネーブル	24	O	R 4	
8	I	EXTP.	EXTPモード	25	O	R 5	
9				26	O	R 6	
10				27	O	R 7	
11				28	O	R 8	
12		NC		29	O	R 9	
13				30	O	R 10	
14				31	O	R 11	
15				32	O	R 12	
16				33	O	R 13	
17	I	ABS.	外部原点	34	O	R 14	
				35	O	R 15	チャンネル 1-16
				36	O	R 16	
				37			
				38			
				39	O	ALM	アラーム
				40	O	RP	原点完了
				41	O		
				42	O	NC	
				43	O		
				44			
				45			
				46		O.COM.	出力コモン
				47			
				48		GND.	
				49			
				50		+5V	

3-2. 入出力回路

① P₁ ~ P₄ [I/O 1~4]

外部からパターンを変更するときに、使用します。
P₁ ~ P₄ の入力によるパターンを下に示します。

P ₁	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF	ON	OFF
P ₂	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF	ON	ON	OFF	OFF
P ₃	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
P ₄	ON	ON	ON	ON	ON	ON	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
パターン	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15

② ORG [I/O-5]

外部で原点検出モードにあるのに、使用します。

③ CLR [I/O-6]

OSエラー (S ERROR) 解除に使用します。

④ OE [I/O-7]

R₁ ~ R₁₆ の出力を、パルス幅 20、21 にします。

⑤ EXTP [I/O-8]

キーボードからのパターン変換を、禁止し、実行パターンは、入力の P₁ ~ P₄ による様に、します。

⑥ ABS [I/O-17]

I/O 基板上の SW₉ を、切替えることにより、外部原点となります。

⑦ EMG [I/O-18]

44 エラーとして、R₁ ~ R₁₆ の出力を、パルス幅 02、03 にします。

⑧ R1 ~ R16 [% 21 ~ 36]

プログラムした内容を出力します。

⑨ ALM [% - 39]

アラームが発生した時に出力します。

⑩ RP [% - 40]

原点検出中に出力します。

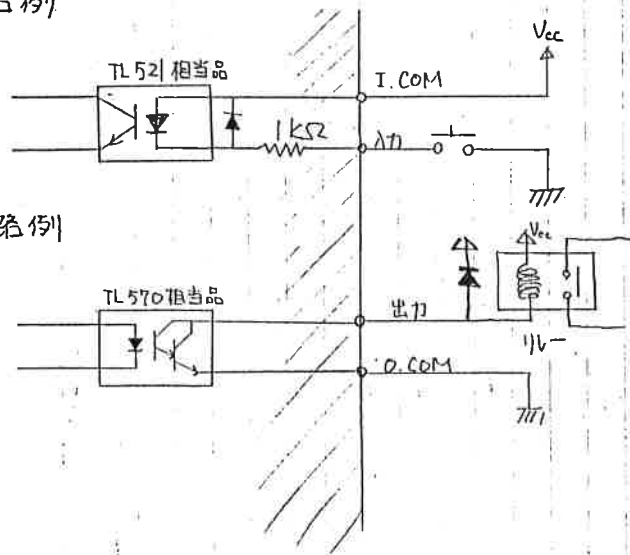
⑪ GND [% - 47.48]

内部電源のGNDです。

⑫ +5V [% - 49.50]

内部電源の+5Vでチェック用なので使用禁止です。

④ 入力回路例



⑤ 出力回路例

4. 初期におこなうこと.

① プログラム内容を全て消す。

② カウンタの量をゼロにする。

以上の点は、出荷時に、おこなっていますが、念のため、こちらで実行してください。

① の操作方法.

IDX → → → SET → CLEAR - P00

9 → 9 → SET → CLEARING - P99

② の操作方法

IDX → SET → SET → EXT. P07 120,000

(X) { 120 → 0 → SET → EXT. P07 0.000
120 }

(X)操作は、座標プリセット動作です。

5 電源投入から、カウンタ表示にする。

PULSCALE CP1000 と表示後 SET キーを押します。

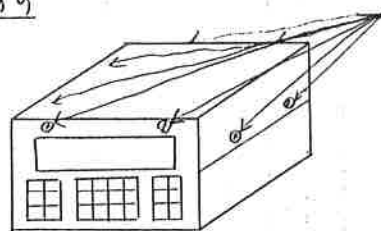
すると、電源を切る前のカウンタの状態になります。

もし、[IDX-] 中から カウンタ表示にするには [C] キーを押します。

6. 基板交換の手引き

CP1軸カウンタは、5枚の基板で構成されていますが、内4枚が、スタッドで、固定されています。もう1枚は表示基板で、底面に固定されています。

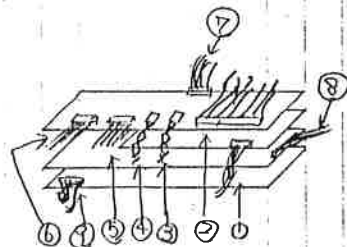
1) ケースをはずす



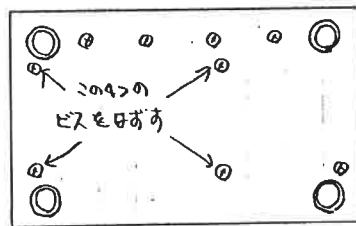
全部で 8本のビスを
はずします。

2) コネクターをはずす。

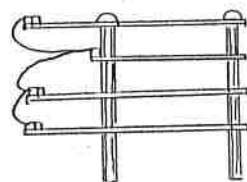
- | | |
|-----------|----------|
| ① プロテクトSW | ⑤ 入力 |
| ② I/Oコネクタ | ⑥ LED出力 |
| ③ プザー | ⑦ 表示コネクタ |
| ④ 電池 | ⑧ 電源コネクタ |



3) 底面のビスをはずす



4) 基板構成



- ← Psw-3 (I/O)
- ← Psw-5 (1974 ROM)
- ← Psw-2 (カウンタ表示)
- ← Psw-1 (CPU)

7. 内部パラメータについて

(104-113)

パルスケール CP1000 (CP1050) には、そのシステムごとに固有の内部パラメータが設定されています。

通常はこの内部パラメータを変更することはありませんが、何らかの理由で変更する場合は以下の操作例に従って行ないます。

例・・・パラメータ番号01を00000001にする場合

- 1 上蓋をあげ、基板上に付いているディップスイッチSWの8をON側に倒してください。

表示は右図のようになります。

PAR_N00 ≥ 00000000

- 2 ↑ を押し、パラメータ番号01を選択します。

表示は右図のようになります。

PAR_N01 ≥ 00000000

- 3 変更するデータを1と入力します。

表示は右図のようになります。

PAR_N01 ≥ 00000001

- 4 SET キーを押します。

データの変更が終わったので、次に格納動作を行ないます。

裏面に付いているプロテクトスイッチをOFF側に倒します。

STOR キーを押します。

ブザーが鳴り、パラメータが格納されます。ブザーが鳴り終わったらプロテクトスイッチをON側に戻します。

- 5 最後に基板上的ディップスイッチSW8をOFF側に倒します。
これでパラメータの変更は終わりました。

システムパラメータ一覧表

番号	標準 設定	意 味																																																												
00	0000000000	電源投入から、原点検出を、行うまでの出力データ																																																												
01	0000000000																																																													
02	0000000000	非常停止 (EMG) を入力した時の出力データ																																																												
03	0000000000																																																													
04	0000000000	測長モード時 (POS) の 出力データ																																																												
05	0000000000																																																													
06	0000000000	-∞ から、最小位置データ設定位置までの間の出力データ																																																												
07	0000000000																																																													
08	0000000000	プログラム中の [C] キーを押した時の出力設定値																																																												
09	0000000000																																																													
10		8パターンで 全2. 0と設定 16パターンで 全2. 1と設定. (増設の必要あり)																																																												
12	00000101	分解能. (下4ケタのみ有効)																																																												
	分解能	<table border="1"> <thead> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>μm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0.1</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0.2</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0.5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>μm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>μm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	4	3	2	1	μm	0	0	0	0	0.1	0	0	0	1	0.2	0	0	1	0	0.5	4	3	2	1	μm	0	0	1	1	1	0	1	0	0	2	0	1	0	1	5	4	3	2	1	μm		1	1	0	10		1	1	1	25	1	0	0	0	50
4	3	2	1	μm																																																										
0	0	0	0	0.1																																																										
0	0	0	1	0.2																																																										
0	0	1	0	0.5																																																										
4	3	2	1	μm																																																										
0	0	1	1	1																																																										
0	1	0	0	2																																																										
0	1	0	1	5																																																										
4	3	2	1	μm																																																										
	1	1	0	10																																																										
	1	1	1	25																																																										
1	0	0	0	50																																																										
13	0000000000	全点灯																																																												
	表示グラフ	0000000001 1ヶ目 グラフ 0000000010 2ヶ目 グラフ																																																												
14	0000000000	RS232C オプションが付いた時のみ 全2 1																																																												
15	1100000000	1ヶ目 → 原点検出前の出力の有効, 無効 7ヶ目 → 電源投入後, [C] キーを押した時の原点検出 8ヶ目 → 原点の連続検出の有無																																																												
18	01111010	RS232C用 #251のステータス																																																												
19	00000100	ボールド																																																												
	4800 ボー	<table border="1"> <thead> <tr> <th>3ヶ</th> <th>4800</th> <th>5ヶ</th> <th>1200</th> <th>7ヶ</th> <th>300</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4ヶ</td> <td>2400</td> <td>6ヶ</td> <td>600</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	3ヶ	4800	5ヶ	1200	7ヶ	300	4ヶ	2400	6ヶ	600																																																		
3ヶ	4800	5ヶ	1200	7ヶ	300																																																									
4ヶ	2400	6ヶ	600																																																											
20	0000000000	OE を入力した時の出力データ																																																												
21	0000000000																																																													
22	0000000000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>77</th> <th>72</th> <th>70</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 - P1</td> <td>4 - P4</td> <td>7 - OE</td> </tr> <tr> <td>2 - P2</td> <td>5 - ORG</td> <td>8 -</td> </tr> <tr> <td>3 - P3</td> <td>6 - CLR</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	77	72	70	1 - P1	4 - P4	7 - OE	2 - P2	5 - ORG	8 -	3 - P3	6 - CLR																																																	
77	72	70																																																												
1 - P1	4 - P4	7 - OE																																																												
2 - P2	5 - ORG	8 -																																																												
3 - P3	6 - CLR																																																													
24	0000000000	<table border="1"> <thead> <tr> <th>77</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 - ALM</td> </tr> <tr> <td>2 - RP</td> </tr> </tbody> </table>	77	1 - ALM	2 - RP																																																									
77																																																														
1 - ALM																																																														
2 - RP																																																														
54	00001111	ドライラン定数 DRN 時の加算定数																																																												